

北海道震度6強



発行所
山形新聞社
〒990-8550
山形市旅籠町2-5-12
総合案内 023(622)5271
読者センター 023(622)5666
(平日9時30分～17時30分)
(c)山形新聞社2018

2018年
9月6日
〈木曜日〉

電子
速報版

やましん e聞

特別号外

■やまがた
ニュースオンライン
yamagata-np.jp

■携帯・スマホ
yamagata-np.jp
/mobile/



詳しくは山形新聞を
ご覧ください。

土砂崩れ 大規模停電

6日午前3時8分ごろ、北海道で震度6強の地震があった。道警などによると、厚真町や安平町では土砂崩れや家屋倒壊、火災といった大規模な被害が出ている。住民が巻き込まれたとの情報もある。道内すべての火力発電所が停止し、全域で295万户が停電した。

気象庁によると、震源地は胆振地方中東部で、震源の深さは37キロ。地震の規模はマグニチュード(M)6.7と推定される。その後も震度1〜4の地震が続いた。津波はなかった。気象庁は「1週間ほどは震度6強程度の地震に気を付ける必要がある」としている。

北海道知事は自衛隊に災害派遣を要請した。政府は首相官邸の危機管理センターに対策室を設置した。安倍晋三首相は「人命第一で災害応急対応に当たっていく」と記者団に語った。北海道での震度6強は、震度階級が改定された1996年以降初めて。国内で震度6強以上の地震は2016年の熊本地震以来。室蘭市の石油コンビナート施設では火災が起きたが、ほぼ消し止められた。北海道泊村にある北海道電力泊原発は外部電源が喪失。1〜3号機の原子炉に核燃料はなく、非常用電源により、使用済み核燃料プールの冷却は継続した。



地震で崩れた北海道安平町の建物

11 6日午前 (北海道新聞社提供)

町では住宅6棟が倒壊、少なくとも住民ら十数人と連絡が取れていない。



購読・試読のお申し込みは▶
フリーダイヤル 0120-81-8040